

令和5年度
おかやま学びたい賞
市内受賞校



「おかやま学びたい賞」とは、県内の小中学生が住んでいる地域の魅力、抱える課題の解決、地域活性化の提案など、自ら課題を発見し、グループで協力しながら課題解決に取り組んだ学習の成果を募集する場です。今年度は、小学校50点、中学校46点の96点の応募があり、井原市はすべての小学校・中学校が応募し、優れた取組として6校が受賞しました。



最優秀賞

井原市立青野小学校
5・6年生

チーム名 ぼっけうめえ青野の葡萄
ふるさとと共にある未来
～10年後どう生きていく?～

「10年後、青野にぶどうシーズン以外にも定期的に人が来るようにする」という目標を立て、その実現のために段階を踏んだゴールを設定し、今年度は青野で開催されるイベントに、たくさん人を集めることを目指しました。地域の人と協力しながらイベントでの出店に向けて取り組んだ活動をまとめています。

奨励賞

井原市立県主小学校 3・4年生
チーム名 ほっと HOT
ほっとプロジェクト

井原市立井原小学校 6年生
チーム名 チーム イバラニア
井原市の仕事について知ろう！体験しよう！

井原市立井原中学校 3年生
チーム名 井原中3年生
3年生「地域活性化プロジェクト」の取り組み

井原市立美星中学校 3年生
チーム名 美星中学校3年
美星プロジェクト ～ 一歩先へ ～

各校の発表動画や単元報告シートは、取組拡充に積極的に活用しています。
※各校の活動の様子は、WEB『ひとづくりのまち井原』でご覧いただけます。



めざせ!! 井原“志”民

自分とふるさと井原を愛 (I) し、よりよい未来のために実行 (Do) する
自分と井原への確かな『IDentity』をもった人財

ひとづくりのまち井原

岡山県西南部に位置する人口3.8万人の井原市。温和な気候と豊かな自然に恵まれ、『井原デニム』や『美しい星』、美味しい『ぶどう』や『明治ごんぼう』など、世界に誇れる「もの」や「しごと」があり、それを支える人情味あふれ、優しく、熱い「ひと」がいます。

井原で育つ子どもたちが、予測困難な時代の中で自ら課題を見つけ、考え、行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。共に学び、語り合いながら、よりよい未来を共に創りたい。そのため井原市では、「地域とともにある学校づくり」と「学校(子ども)を核とした地域づくり」の実現と、それを支える地域と学校の連携・協働による総ぐるみの「ひとづくり」を推進しています。

これからの時代に求められる「生きる力」

2019(令和元)年度にスタートした「ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業」では、自分とふるさと井原を愛し、よりよい未来のために実行する人財＝井原“志”民の育成を目指しています。

井原“志”民とは、自分とふるさと井原への確かなIDを持つ自分らしさと地域らしさを大切にする人財。そのために必要な力や行動を市民と検討し、井原“志”民力という3つの資質・能力に整理しました。

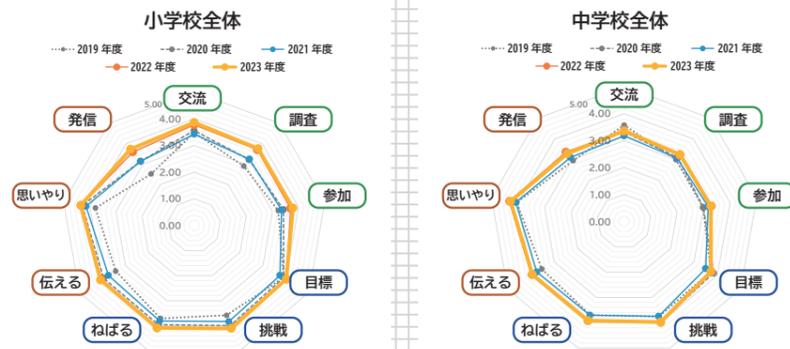
各学校園や地域では、この井原“志”民力をこれからの時代に求められる「生きる力」ととらえ、ふるさと教育や起業家教育の視点を取り入れた学習活動や地域活動に積極的に取り組んでいます。

これまでの5年間の活動を通して見てきた若者たちと、それを支える大人たちの姿や想いを紹介します。

データから読み解く、井原の子どもたち

2019年から、井原市内の学校に通う小学生・中学生・高校生を対象にアンケートを実施しています。井原“志”民力がどのように変化しているのか、ご紹介します。

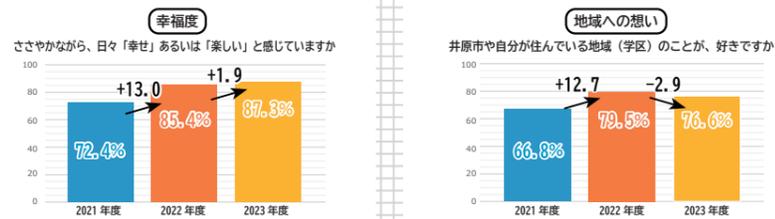
井原“志”民力の行動指標に対する自己評価結果
5段階評価を平均値で算出し、5年間の変化を可視化



井原“志”民力について

小学校・中学校の全体的な結果としては、2022年から2023年は自己評価がほぼ変わらない傾向が見られました。事業を開始した2019年から比べると小学校・中学校ともに井原“志”民力の自己評価が次第に高まっている傾向が見られています。

幸福度・地域への想いに対する評価結果
5段階評価を平均値で算出し、3年間の変化を可視化(小中高全体)



幸福度・地域への想いについて

2021年より幸福度・地域への想いに対する調査を行なっています。小中高全体の幸福度は、2021年から2023年で高まっている傾向が見られました。地域への想いは、2022年度から2023年度に微減していますが、高い水準で推移しています。



活躍しています!!

井原の若き 井原志民たち!!

さまざまな年代の若者たちが、地域をフィールドに自分たちや社会のよりよい未来のために活躍する姿がどんどん増え、まちを元気にしています!

pick up! 2006年生まれ。中学校で不登校を経験するが、高校入学後はスイミングコーチのアルバイトを機に潜水士の国家資格を取得するなど、様々なチャレンジを開始。現在は『イノベーションハーバー』という名称で活動中。井原市立高等学校 仁城 ひなたさん

学童保育とスイミングコーチのアルバイトに動いむ日々。自校の生徒たちの食生活をもっと良くしたいと考えた!

第2回 コノヒトカン 1000缶プロジェクト

みんなの給食室 PROJECT

高2の春...! 「暇」がきっかけで活動スタート。

2-2 イノベーションハーバー 若者の得意を活かし、学びと収益をまわす場

秋 学生が活躍できる居場所づくり!

2024年4月 アメリカ招待!!

井原商工会議所、井原市役所、地域の方々からご支援いただき実現! ありがとうございます!!

今後したいこと! 居場所づくり、地元企業と学生をつなぐ、ベトナムでボランティア、水難事故防止 などなど

2024年は何をしよう?

「外国人と日本人の壁をなくしたい!」

「今をめいっぱい楽しむ!」

※こちらのアイコンは、仁城さん本人が作成してくれました

- 第2回コノヒトカン 1000缶プロジェクトにて発表《地域の未来デザイン賞》受賞・副賞賞状 200 個
- 福武教育文化振興財団「高校生・大学生アクション助成」採択 『みんなの給食室 PROJECT』実行、絵本『ナツくんのおべんとうばこ』を制作
- Sharing Eco Tour & Homestayに参加し、タイでボランティア活動
- 岡山サス ビジネスプランコンテスト 2023にて発表《ファイナリスト》選出
- 岡山イノベーションコンテストにて発表《ファイナリスト》選出
- 第27回ボランティア・スピリット・アワードにて活動発表《米国ボランティア親善大使》選出
- アメリカでの全米表彰式へ招待、2024年4月渡米・参加予定
- 井原線開業 25周年記念事業「特別車両貸切ツアーコンテスト」採択、『異文化交流列車ツアー』が採択、実現

伴走した大人からのメッセージ

仁城さんのココガスゴイ! / 未来へつなげるための行動力!

活動資金の寄付をお願いするときに、ただお願いするだけでなく、自分たちがやろうとする活動の背景や目的を丁寧に説明し、聞いた方をまき込んでいく姿が印象的でした。寄付してくださった方へ活動報告と手書きの似顔絵を送ったり、つながりを大切にされていて、当たり前のことが自然にできるところが素晴らしいと思います。



寄付をしてくださった商工会議所青年部の皆さん

問題に直面することもたくさんありますが、若いひとをまき込み、共感し、行動しながら、少しずつも前に進んで、自分たちの持続可能な未来を創造して行ってください!

井原商工会議所副会長 井原市立高等学校 学校運営協議会会長 乗藤 昭範さん

高校生のメッセージ

こんな井原にしたい! / 若者・次世代にとっても居心地がよいまち

活動をする中で「自分の出来ること・出来ないこと」の意識を持つこと「関わる人とwin-winな関係作りをする」ことを大切にしていきたいと思います。乗藤さんは、対等な目線でアドバイスをくださり、もっと良いものにしよう!と前向きに、本気で取り組むことができました。イベント終了後「大成功でした」と言ってくださり、すごく嬉しかったです!



寄付をしてくださった皆さんの手書きの似顔絵

今後は、水に関する活動(着衣水泳・水遊びの指導など)や、海外での勉強・ボランティアに新しく取り組んでいきたいです!

イノベーションハーバー 井原市立高等学校 仁城 ひなたさん

井原志民 たちへ 一問一答!! 活動内容を教えてください 活動で学んだことは? 今後の目標は? その先の目指す未来は?

中学生 自分たちなりにふるさとに関わり、井原市を盛り上げたい

市制施行70周年記念事業中学生企画委員 木之子中学校3年生 北川 浩史郎さん

動 中学生企画委員に参加し、中学生のアイデアを活かしてSDGsロゴマークや記念ソングの制作、式典の企画・進行などに挑戦した。

学 立場の違う人々と活動する中で、井原市についてより深く理解することができ、井原市の未来について考える有意義な時間になった。

夢 中学生企画委員に参加して、井原市のことを今まで以上に知れたので、年齢関係なく『誰もが楽しく快適な井原市』を目指して盛り上げていきたい。

志 井原市の魅力を世界に伝え、井原市にたくさんの人たちが訪れてくれるような井原市を目指したい! それらを、実現できるような人になりたい!!

井原市まち&ひとづくりフェスタで 全体進行を担当

中学生と大学生で楽しくミーティングしながら 活動のアイデアを出し合う

高校生 自分の得意なことを誰かのために活かし、多様な思考で社会を創る

市制施行70周年記念事業中学生企画委員 岡山県立井原高等学校3年生 岡田 真依さん

動 中学生企画委員として活動しつつ、自分の得意なイラストを使ってふるさとに貢献できないかと考え、2種類のロゴマークをデザインした。

学 「持続可能なふるさとづくり」のために何をすればよいかは答えがなく、SDGsをきっかけに年齢や立場を超えて学び続けていくことが大切である。

夢 自分の将来の夢とSDGsの17目標の背景や原因等への知的好奇心を忘れず、今後も自分のできることから取り組んでいきたい。

志 様々な人に愛される井原をめざし、自分の得意なことを誰かの為に活かして行動を起こせる人間になり、多様な思考でみんなと社会を考えていきたい。

デザインしたマークが井原市公式のSDGsロゴマークに決定

スマホやPCが上手に操作して 想いを形に

大学生 学校教育と社会教育の両面から子どもたちの生涯学習を支えていきたい

岡山大学教育学部2年生 井上 知起さん(西江原町出身)

動 井原市を題材に地域創生を考える科目『地域の未来デザイン』を受講し、井原市の魅力拡大や課題解決につながる取組の検討・実践を行った。

学 井原出身者、そして大学生という2つの視点から地域の活性化について考え、活動の中で、「地域の方々の想い」、「実践と振り返り」に気付いた。

夢 大学で教育について学びながら、学校教育はもちろん、井原市のひとつの事業をはじめとする社会教育の取組にも継続して参加して行きたい!

志 学校だけでなく地域や家庭と連携・協働しながら、これからの担う子どもたちの生涯学習全体を支えていけるような教員になりたい!

井原市まち&ひとづくりフェスタで 活動発表

大学生が中心となって まち歩き・交流イベントを開催

井原市制施行70周年記念事業中学生企画委員企画 《中学生アイデア実現プロジェクト》

70周年をよりよい未来(100周年)に向けたスタートラインにしよう!と中学生たちがアイデアを出し合って活動しました。

1 井原市オリジナルSDGsロゴマークつくっちゃおう!

全6点の応募から市内高校生のデザインが採用され、井原市公式のステキなロゴマークが完成!!

2 井原市オリジナル記念ソングつくっちゃおう!

井原市出身のシンガーソングライター藤川千愛さんとコラボして中学生の想いを反映させたステキな記念ソングが完成!! 記念ソング『普通じゃない世界を知らなかった僕ら』スペシャル動画を限定配信!

3 マイSDGsプロジェクト!

地元ケーブルテレビとコラボして、井原市の個人・団体が実践しているSDGsの取組を募集・発信するプロジェクトが進行中!!

高校生 みんなに愛される存在になり、井原を魅力的なまちにしたい

IBARACT 岡山県立井原高等学校2年生 谷中 蒼氏さん

動 生徒が主体となり、地域の方と高校生が交流するイベント(井原駅前での音楽ライブ・まなびフェスタ)での弦楽器講座)を入念な準備の上で計画実行した。

学 自分たちの得意なことや個性を尊重して創り上げた活動は、自分たち以外の誰かを喜ばせることができ、新たな交流の場の創出につながった。

夢 定期的なイベント開催や新たな企画等、活動内容を充実させたい。活動規模を広げて、多くの人に井原市を知ってもらいたい。

志 IBARACTが、井原の人たちから愛された存在になるとともに、井原を有名にして、市外の人が住んでみたいと思う魅力的なまちにしたい。

井原駅前で開催した音楽ライブ後の記念写真

まなびフェスタでの大人気だった弦楽器講座

大人 自分の「好き」を追求し、「強み」を活かし井原をBMX・自転車のまちに!

BMXライダー、タレント 全日本BMX連盟公式アンバサダー 早川 優衣さん(芳井町出身)

動 『井原「志」民塾・オンライン講座』のゲストとして、これまでの経験や想いを話す機会を得た。井原に戻り、改めて地元で貢献できる活動を考えたい。

学 自分自身と向き合うことで、自分への理解が深まった。まず1番は自分を知ることから始めるのだと学んだ。

夢 自分の「好き」を追求し、自分の「強み」を生かし、私にしかできない、私だからできる方法を探して、どんどん新しいことに挑戦し続けたい。

志 私と関わった人が、「幸せ」と感じたり、新たな夢や目標を見つけたりするきっかけをつくりたい!そして、井原をBMX・自転車のまちにしたい!!

井原「志」民塾・オンライン講座にゲスト出演

新たに自らのチーム『Te.RASU』(ティラス)を結成し、BMXによるまちづくりを加速

※掲載されている内容はすべて令和6年度当初の情報であり、現在とは異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。